

各法人の新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による経営への影響と対応について（令和4年度決算）

（単位：千円）

番号	法人名	コロナ禍や物価高騰による経営への影響と対応	指定管理施設	指定管理委託料 (R4当初予算)	コロナや物価高騰による減収への補填額 (R4実績額)	補填額が法人のR4年度経常収益（売上高）に占める割合	【参考】R4年度当期経常増減又は経常利益（損失）
1	(公財)愛媛県スポーツ振興事業団	施設利用等はコロナ禍以前に近い状況まで回復。光熱水費等の物価上昇に伴い支出額が大幅に増加したが、県との協議により管理運営委託金が増額されたことから、施設整備（修繕）等を実施し利用者へ還元することができた。	愛媛県武道館	147,590	29,795		794
			愛媛県総合運動公園	191,511	21,632		
			計	339,101	51,427	8.67%	
2	(公財)愛媛県文化振興財団	HPやSNSを活用した情報発信の強化や徹底した感染防止対策の実施により、利用者数及び利用料金収入はともに前年度より改善したものの、引き続きコロナ禍の影響により一部事業を中止せざるを得なかったことや、職員の定年に伴う退職給付費用等により赤字額が増大した。	愛媛県県民文化会館	162,230	110,255	25.05%	△27,880
3	(公財)松山観光コンベンション協会	コロナ禍で中止または縮小していた事業が再開できたことや、アフターコロナに向けた事業に積極的に取り組んだことにより、黒字決算となった。					10,301
4	(公財)愛媛県国際交流協会	大きな影響なし。					4,209
5	(一財)愛媛県廃棄物処理センター	大きな影響なし。					△1,195
6	(公財)えひめ女性財団	貸館業務について、コロナ禍の影響により一部期間で新規予約受付を停止するなど、少なからず影響があったものの、年度全体を通して見ると利用件数、人数ともに前年度を大きく上回り、利用料金収入もコロナ禍以前と同水準まで回復し、黒字決算となった。また、昨今の物価高騰の影響により、特に光熱水費について著しい高騰が続いているため、かねてより実施している館内照明の順次LED化等により、経費対策を行っている。	愛媛県男女共同参画センター	65,474	5,704	4.72%	1,155
7	(公財)伊方原子力広報センター	コロナ禍の影響により、2回の講演会と「子ども科学教室」及び「見学会」の一部が中止となったほか、来館者数についても前年度比10.8%減となった。3年度に中止した事業に係る黒字を解消するため、セミナーのオンライン対応に要する経費や放射線番組の制作等の費用を支出し赤字決算となった。					△230
8	(公財)えひめ産業振興財団	大きな影響なし。	テクノプラザ愛媛	89,731	—	—	25,869
9	(公財)えひめ農林漁業振興機構	コロナ禍の影響が残る状況下において、オンライン就農相談等の実施により的確に対応しているが、農林漁業後継者助成事業における費用増加等により赤字決算となった。					△440
10	(公社)愛媛県園芸振興基金協会	大きな影響なし。					625
11	(公財)愛媛の森林基金	コロナ禍の影響を受け県植樹祭などの一部事業が中止となったことにより、支出が減少し黒字決算となった。					3,329
12	(公財)えひめ海づくり基金	大きな影響なし。					△31,434
13	(公財)愛媛県動物園協会	昨今の物価高騰等の影響により飼料等をはじめ支出が増加したほか、コロナ禍の影響によりイベント縮小等の影響があったものの、夜の動物園等の開園時間の延長や有料ガイドなど来園者サービスの充実に取り組み、入園者数と利用料金収入ともにコロナ禍前の水準に回復したこと等により黒字決算となった。	とべ動物園	371,212	29,874	4.29%	18,249
14	(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	大きな影響なし。					12,848
15	(公財)愛媛県暴力追放推進センター	コロナ禍を経て、リモートでの「不当要求防止責任者講習」の試行開催を実施し、前年比+640人の合計1,504人が受講するなど、暴力団排除気運の醸成に努めた。					271
16	松山空港ビル㈱	運航状況に合わせた売店・案内所等の運営体制見直しなど可能な限りの経費削減や広告収入等の積極的な収入確保に努めつつ、コロナ収束後を見据えた中長期的な視点から、スポット増設と併せ、国際線旅客ターミナルビル拡張工事の整備促進に努めるなど、利用者数の増加を見据えた施設整備を着実に進めている。					269,680
17	愛媛エフ・イー・ゼット㈱	新規利用に向けた積極的な営業活動や、自主企画イベントの開催に取り組むことで、コロナ禍で落ち込んだ会場利用の回復及び収益の改善を図った。	愛媛国際貿易センター	106,989	4,200	0.55%	80,977
18	松山観光港ターミナル㈱	令和4年度は、コロナ禍が落ち着き、乗降客数に一定の回復が見られたものの、リモートワークが普及したこと等により、ビジネス客を中心に乗降客数の回復が鈍い状況にあることや、電気料金の高騰により赤字決算となったが、赤字額は前年度から大幅に改善した。	松山観光港ターミナル	30,978	259	—	△5,256
19	南レク㈱	コロナ禍が徐々に収束に向かい、休園措置等なく安定して運営が行えたことや、アフターコロナに即した屋外イベントを開催したこと等により、最終的な経常利益は黒字となった。	南予レクリエーション都市公園	354,232	5,980	1.33%	17,671
20	(社福)愛媛県社会福祉事業団	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の一部休止・縮小や原油価格・物価高騰の影響があったものの、国、県及び市の補助事業等を有効に活用したほか、収入の確保及び効率的な事業執行に努めた結果、最終的に黒字決算となった。	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	45,375	—		95,678
			愛媛県身体障がい者福祉センター	52,621	1,622		
			愛媛県障がい者更生センター	38,140	19,576		
			愛媛県視聴覚福祉センター	108,130	1,146		
計	244,266	22,344	1.27%				
21	愛媛県土地開発公社	大きな影響なし。					236

※太枠内はR4年度決算で赤字の法人（廃棄物処理センターを除く）